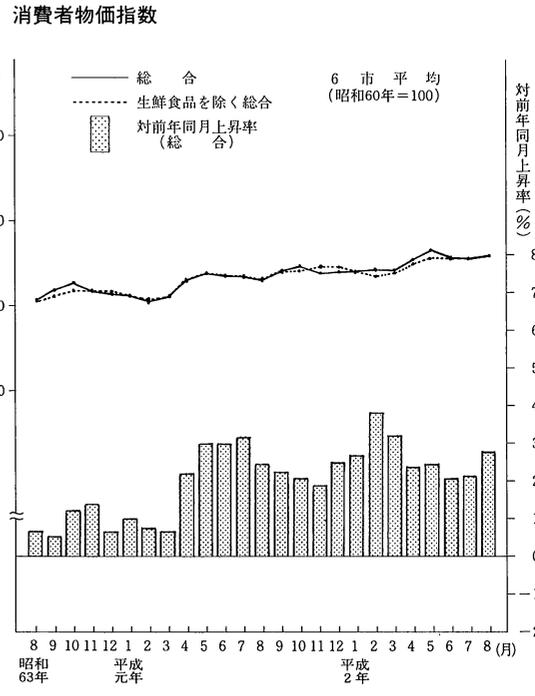
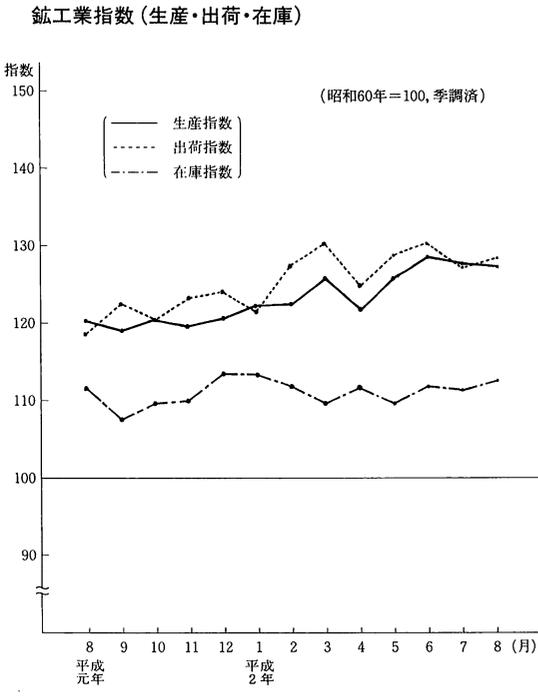
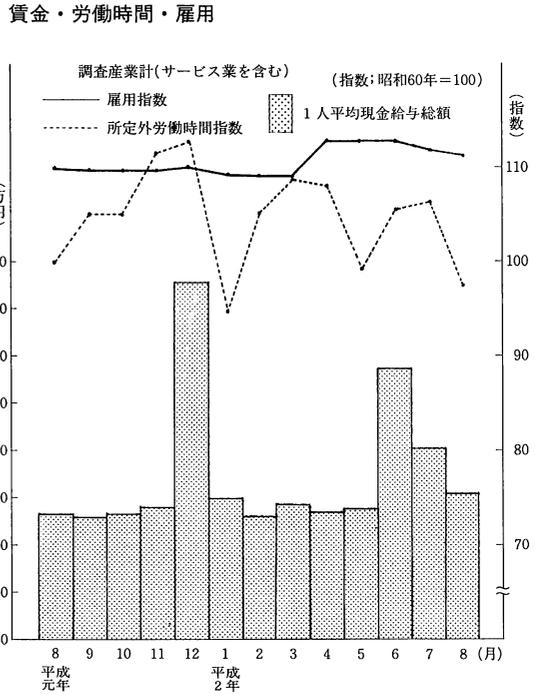
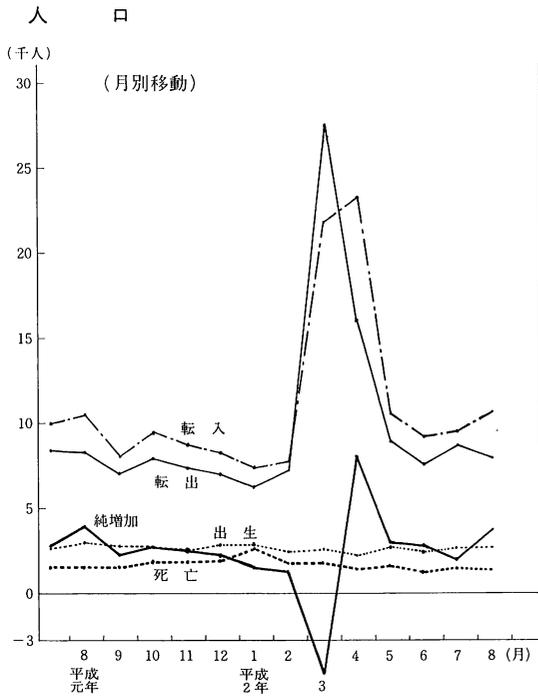


# 今月の主な動き



主な動きのあらまし ..... 企画部統計課

■ 人 口 (9月1日)

本県の人口は、8月中に3,856人増加し、9月1日現在で2,849,806人(男1,421,096人,女1,428,710人)となった。

内訳は、自然動態で1,143人(出生2,562人,死亡1,419人)増加し、社会動態で2,713人(転入10,707人,転出7,994人)増加した。対前年同月と比べると25,790人(0.91%)の

増加である。

市町村別では、増加が20市55町村、減少が12町村、増減なしが1村である。

世帯数についても8月中に1,401世帯増加し831,517世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (8月)

1. 平均賃金の推移

8月の現金給与総額は、本月が賞与等の支給月であるため、調査産業計で301,715円、前年同月比15.3%増(前月は1.3%減)と前月に比べて大きく変動している。このうちきまって支給する給与は263,155円、前年同月比4.3%増(前月は4.6%増)であった。また、きまって支給する給与のうち、所定内給与は234,241円で、前年同月比4.5%増(前月は4.7%増)であり、超過労働給与は28,914円で、前年同月比2.5%増であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は前年同月比11.8%増であった。

2. 労働時間

8月の総実労働時間は、調査産業計で158.9時間、前年同月比2.1%減(前月は1.1%減)であった。このうち所定内労働時間は141.6時間で、前年同月比2.4%減(前月は1.3%減)であった。

また、所定外労働時間は18.8時間、前年同月比はもろちい(前月は0.5%増)であった。

3. 雇用の動き

8月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると前年同月比1.4%増(前月は1.2%増)であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上を対象として公表しています。  
なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

■ 鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉 (8月分)

本県における平成2年8月の“鉱工業指数”(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が127.7、出荷が128.4、在庫が112.8で、前月比は、生産が△0.3%の低下、出荷が0.6%の上昇、在庫が1.4%の上昇であった。

前年同月比(原指数)は、生産が6.1%の上昇、出荷が8.2%の上昇、在庫が1.2%の上昇であった。

業種別に前月比をみると生産では、鉱業、石油・石炭製品工業、金属製品工業等が上昇し、一般機械工業、窯業・土石製品工業、鉄鋼業等が低下した。出荷では、鉱業、一

般機械工業、石油・石炭製品工業等が上昇し、窯業・土石製品工業、その他工業、繊維工業等が低下した。在庫では、石油・石炭製品工業、非鉄金属工業、鉱業等が上昇し、一般機械工業、代学工業、精密機械工業等が低下した。

特殊分類別にみると生産では、その他用生産財、非耐久消費財等が上昇し、耐久消費財、鉱工業用生産財等が低下した。出荷では、その他用生産財、非耐久消費財等が上昇し、耐久消費財、建設財等が低下した。在庫では、その他用生産財、非耐久消費財等が上昇し、資本財が低下した。

■ 消費者物価指数 (8月)

平成2年8月の茨城県消費者物価指数(6市平均)は、総合で106.0(昭和60年=100)となり、前月比0.3%の上昇、前年同月比3.0%の上昇となった。

今月上がった主な費目……野菜・海草8.3%、他の教養娯楽1.9%、乳卵類1.3%、油脂・調味料1.3%

今月下がった主な費目……シャツ・下着△6.1%、衣料△4.7%、果物△2.8%

生鮮食品を除く総合は105.8となり、前月比0.1%の上昇、前年同月比2.7%の上昇となった。

費目別指数

(昭和60年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	106.0	0.3	3.0	保健医療	106.0	0.0	0.2
食 料	105.2	1.1	2.9	交通通信	102.8	0.0	0.9
住 居	117.4	0.5	4.9	教 育	124.5	0.0	6.7
光熱・水道	90.1	0.2	2.6	教養娯楽	110.8	1.7	3.7
家具・家事用品	100.0	△0.1	0.3	諸 雑 費	106.2	0.0	1.6
被服及び履物	105.5	△3.7	4.9	生鮮食品を除く総合	105.8	0.1	2.7